



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 輿石 信
令和5年度 第9号
2023.10.6

様々な人から学ぶ・社会を知る

○ 1年生 福祉講話「ドッグセラピー」(9/22) 山梨セラピードッグクラブ・白石さん

9/22(金)5校時、1年生が「福祉」の学習の一環として、山梨セラピードッグクラブの方を講師に招き、アニマルセラピーの実情やセラピードッグの役割等についてお話を伺いました。その後行われたセラピードッグとのふれあい体験では、セラピードッグに実際に触ったりハンドラー(セラピードッグを操る人)に質問をしたりして、理解と関心を深めました。生徒の感想を一部紹介します。



◆私は福祉講話を聞いて、セラピードッグの大変さ、賢さを学ぶことができました。実際に、講演をしている時も私達が触らせてもらっている時も、(セラピードッグは)静かにじっとして本当にすごいなと思いました。「動物は人間の心を読み取ることができる」と聞いたことがあり、本当なのか疑っていましたが、今回の福祉講話を聞いて、本当に人間の心を読み取ることができるんだなと感心しました。また、実際に(セラピードッグ)に触ってみて、とても気持ちがりフレッシュされた気がしました。もうすぐ部活の試合やテストがあつてストレスがたまると思うので、動物を見て癒やされたいと思います。



◆犬を見てかわいいと思うだけでもアニマルセラピーを受けていることを知りました。同速歩行やアイコンタクトなどセラピードッグに必要な試験が何項目もあることを知り驚くとともにハンドラーとセラピードッグの息の合った姿をすごいと思いました。高齢者や障がい者の方のサポートするなど優秀なセラピードッグを教育しているセラピードッグの仕事に興味をもち、新たな夢の一つになりました。様々な試験や人と犬の関わり大切さなど大変なことがたくさん職業だと思いますが、夢に向かって努力していこうと思いました。

○ 3年 人権啓発出前講話(9/25) 横浜国際人権センター・杉藤さん

9/25(月)5校時、3年生が「人権」に関する学習の一環として、国連NGO横浜国際人権センターの方を講師に招き、人権や命の尊さ等についてお話をいただきました。人権とは、「誰もがもっている二つの願い(①死にたくない、②幸せに過ごしたい)を守るためのものであり、だからこそ一人一人に関わる問題である」こと等、体験談を織り交ぜながら聞くことで、人権について考えを広め深める機会となりました。生徒の感想を一部紹介します。



◆自分の「命」と「幸せ」を自身で守る権利が「人権」であるということを知った。今まで人権とはどんな権利か分からなかったので知ることができて良かった。また、映像を見て、世界には困っている人がたくさんいてそういった人たちを命がけで助ける団体(国境なき医師団)があることも知った。私達が知らないところでいつも誰かに助けられているのだと気づいた。私も今まで席を譲ってもらったり困っていた時に話しかけてもらったりして嬉しくなったことがある。けれど人に席を譲ったり困っている人を助けたりということはあまりなかったので、これからはできるように努力したい。当たり前のように暮らしている日常でも他の人から見たらそうではないということも知った。色々な人の立場に立って物事を考えられるようになると視野が広がりもっと多くの人と関われると思った。

○ 2年 人権講座(9/26) 峡中保護区保護司会

9/26(火)5校時、2年生が「人権」に関する学習の一環として、峡中保護区保護司会の方を講師に招き、各学級で学習会を行いました。保護司の立場から、安全・安心な社会を作るためには、犯罪を未然に防ぐとともに罪を償い再出発しようとしている人たちを地域で支えることが大切であることを学びました。生徒の感想を一部紹介します。



◆罪を犯した人の話は自分には関係ないと思っていたけれど、今日話を聞いて、罪を犯さないためには良い人間関係を保つことが大事で、そのためには「ありがとう」や「ごめんね」といった言葉を当たり前と言えることが大切だと知った。「犯罪や非行をする人を生み出さない」という言葉は誰でもいくらでも言えるけれど、実際に行動に移すことは難しいと思っていたが、保護司の方はそういった活動をボランティアとしてやってくださっていることを知り、尊敬の思いをもった。自分自身が犯罪を起こさないことも大切だけれど他人が起きないように手助けをしたり、自分のことだけを考えるのではなく、地域全員が幸せに豊かに過ごしていけるようにしていく必要があると考えた。

◆私は今日話を聞いて、保護司の方が罪を犯してしまった人が社会で孤立しないようにする取組をしていることを初めて知り、そういった取組があることによってみんなの輪に入れて孤立する人が減ると思ったので、とてもよい活動だと思いました。また、人それぞれ考え方が違ってそれでもその考え方を否定してはいけないと思い、私は、この先みんなが笑顔で過ごすことができる社会になってほしいなと思いました。今日の話は自分のためになったし、これから先に生かせるようにしていきたいと思いました。

○ 2年 職業講話(10/3) ひまわり市場・那波さん

10/3(火) 5校時、2年生が「職業」に関する学習の一環として、ひまわり市場(北杜市大泉町)の代表の方を講師に招き、働くことの意味や働く上で大切なことについて学習をしました。講演の中では、あいさつやマナー、働きがい等について、体験談を織り交ぜ、実際の接客や販売の様子などを映像で紹介しながら、普段はなかなか聞けない貴重なお話を伺うことができ、24日から予定されている職場体験に対する意識を高める良い機会となりました。生徒の感想の一部を紹介します。



◆私は地域の人にあいさつをするのが得意ではなく、あいさつをしてくれたら返すということが今まで多かったです。しかし今日話を聞いて、大きな声でしっかりと「おはようございます」と自分から言うだけで相手も元気になれるということが分かったので、これからは毎朝「おはようございます」と自分から言うようにしたいと思いました。失敗したら「ごめんなさい」、手伝ってくれたら「ありがとうございました」という言葉を社会に出てから言えるように今からどんどん使っていこうと思いました。また、社長さんが言っていた「情熱」というものを自分も大切にしていきたいと思いました。職場体験では福祉施設に行く予定ですが、大きな声、そして礼もしっかりとして、周りの人を元気にしたいと思いました。

◆仕事を行う上で勉強をしたり資格を取ったり、仕事について知る必要があるけれど、一番大事なことはあいさつをすることだと学んだ。仕事を始める前に「お願いします」、終わったら「ありがとうございました」など、あいさつをするのとしらないのでは、相手に伝わる自分の印象がけっこう変わってくると思う。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」を言うだけでも、仕事をする人全員が頑張ろうと思える気持ちになると思った。だから、身近な生活や将来にわたっても、あいさつは欠かせないものだと感じた。また、これからの人生をどのように使っていくのか、仕事をするのであればお金だけでなく自分にとって楽しいと感じられる仕事をして過ごしたいと思った。そのために、まずは目の前の勉強に集中していきたい。そして、職場体験ではあいさつを忘れないように、人との接し方を工夫していきたいと思った。

「全国学力・学習状況調査」から見られる本校生徒の状況です。 ※詳細はHPで

(※この調査は全国の中3を対象に文科省が毎年実施しているもので、今年度は国語・数学・英語の3教科と生活等に関するアンケート調査を行いました。)

■結果の概要

- ・国語・英語は全国と同程度、数学は全国と比べ正答率が高いことから、基礎的な知識や技能等の一定の定着が見られます。その一方で、国語では「語句の理解」、英語では「聞くこと」、数学では「データの活用」に苦手意識をもっている傾向が見られます。
- ・アンケート調査では、「いじめは許されない」「人の役に立つ人間になりたい」「朝食を毎日食べている」「友達関係に満足している」等が高い数値を示しています。その一方、「読書が好き」や「聞き手の立場になって話し方を工夫する」等に課題が見られます。

■学校としての取組

- ・自分の考えを伝え合う場面を多くし、相手の立場に立って効果的な話し方を工夫するよう意識させます。
- ・各教科の課題となっている部分については、授業の中で機会の充実や指導法の工夫を行い、改善を図ります。

■家庭へのお願い

- ・これからも規則正しいリズムで生活できるよう、引き続き指導をお願いします。
- ・可能な限り、普段から活字に触れられるような環境づくりをお願いします。